

Visual Basic 2005 への変換手順

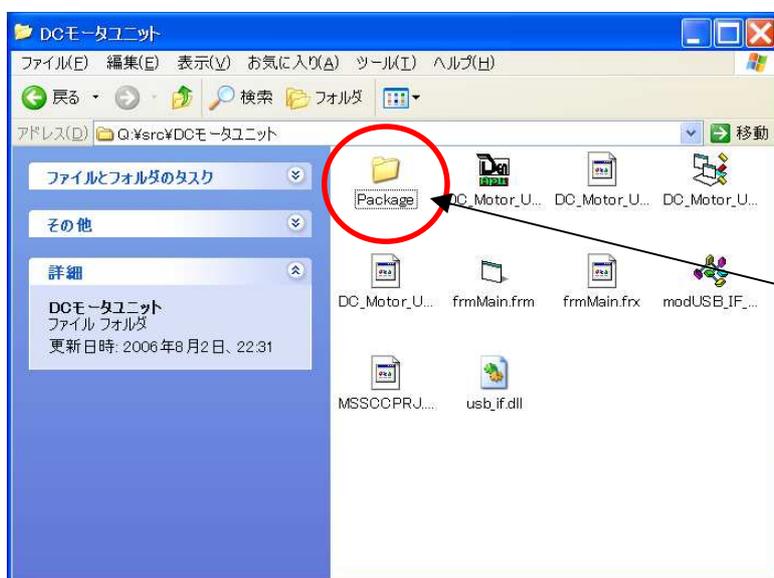
当社の製品に付属する Windows 用のサンプルプログラムは、Visual Basic 6.0（以下 VB6）で記述されています。

現在、入手可能な開発環境である Visual Basic 2005（以下 VB2005）で参照する場合は、形式を変換する必要があります。

基本的には、VB2005 で自動的に変換されますが、使用されているコンポーネントが参照できる場所にインストールされていないと、エラーが出て変換されない場合がありますので、以下の手順を参考に、サンプルプログラムをインストールしてから参照してください。

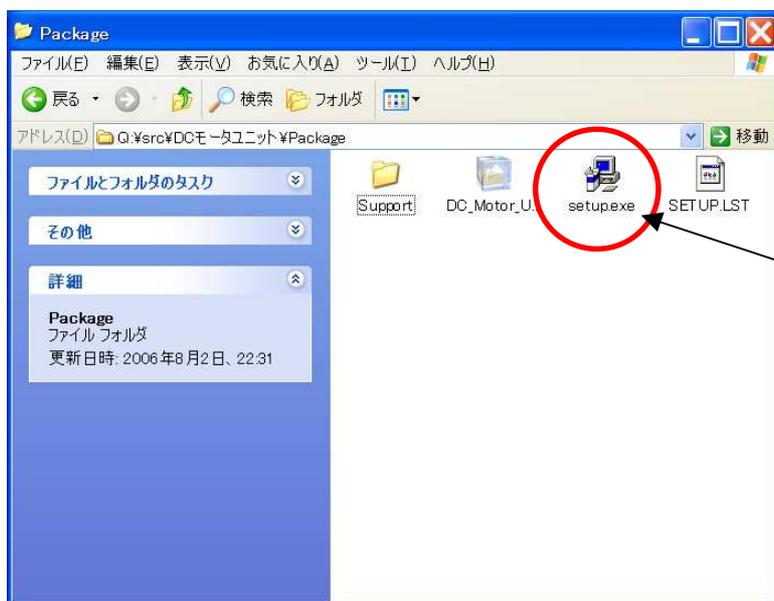
手順は、USB IF BOX に収録されている「DC モータユニット」を例に説明しています。また、VB2005 はあらかじめインストールされていることを前提としています。

1. インストールまでの手順



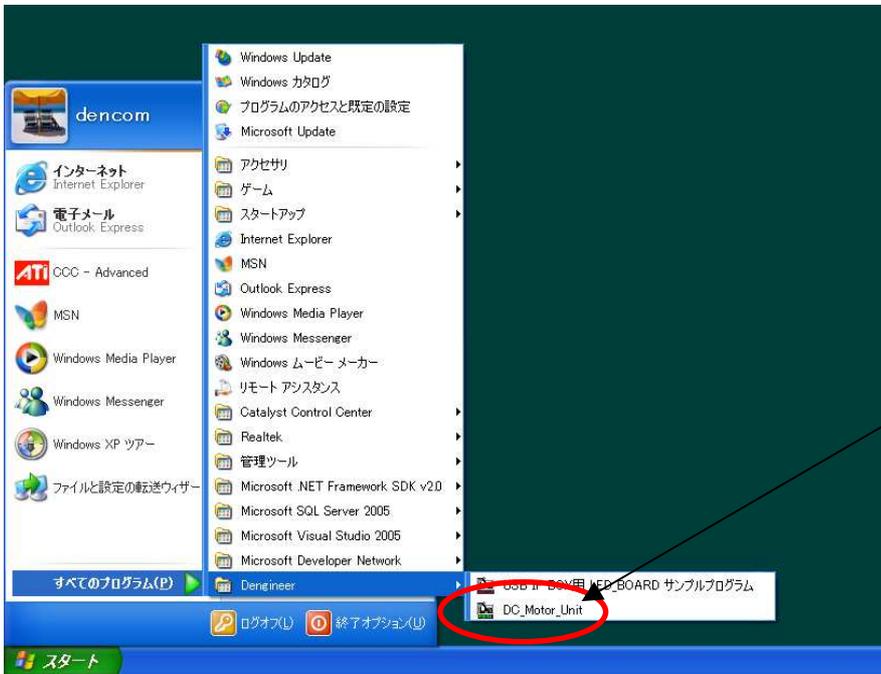
サンプル実行のインストールプログラム「setup.exe」を実行します。

「DC モータユニット」の場合は、「src」→「DC モータユニット」→「Package」フォルダにあります。



「setup.exe」を実行します。

この後は、画面の指示に従ってください。



インストールが完了したら、スタートメニューの「Dengineer」フォルダにインストールしたサンプルが登録されていることを確認します。

この場合は、「DC_Motor_Unit」です。

このプログラムを実行すれば、目的のサンプルが動作します。

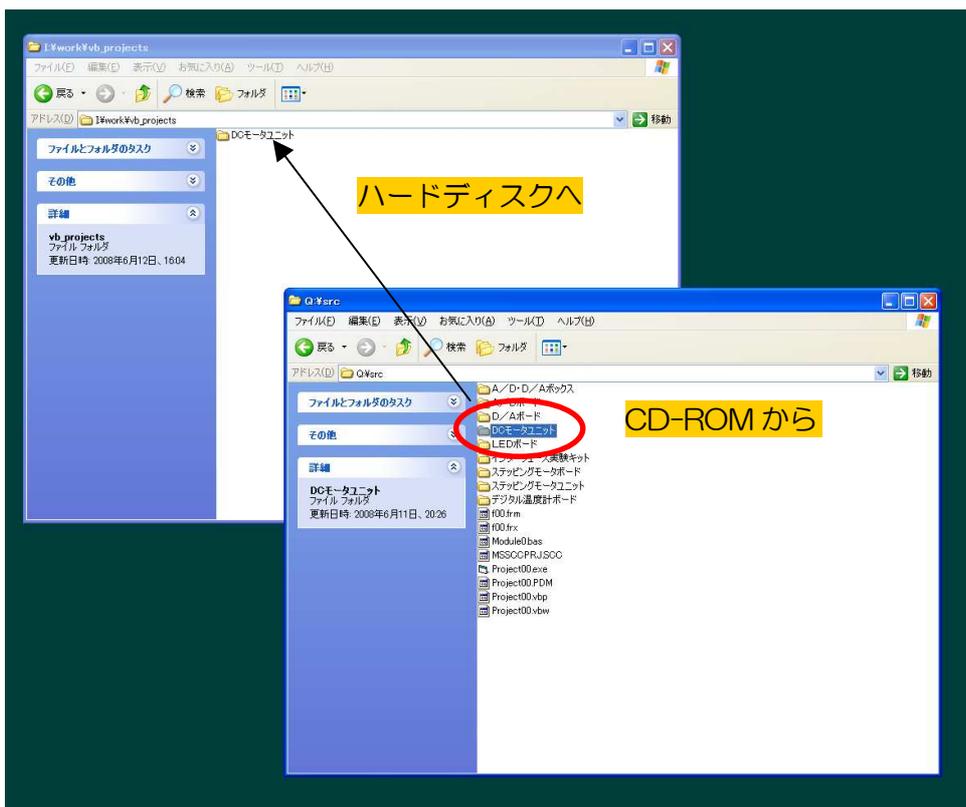
インストールは以上です。

2. VB2005 でのプロジェクト起動

サンプルプログラムのソースの確認や編集は VisualBasic にて行なうことになりませんが、VB6 で記述されているため、VB2005 の形式に変換する必要があります。

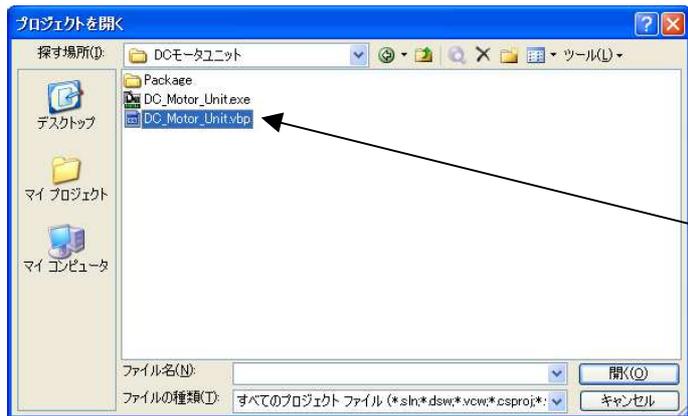
変換は、ほぼ自動的に行なわれます。前述のインストールを行なった後で、以下の手順を参考にプロジェクトを開いてください。

まず、目的のサンプルのプロジェクト一式を付属の CD-ROM からハードディスクにコピーします。ここでは、コピー先として、「¥work¥vb_projects」というフォルダを作り、その中へコピーしています。





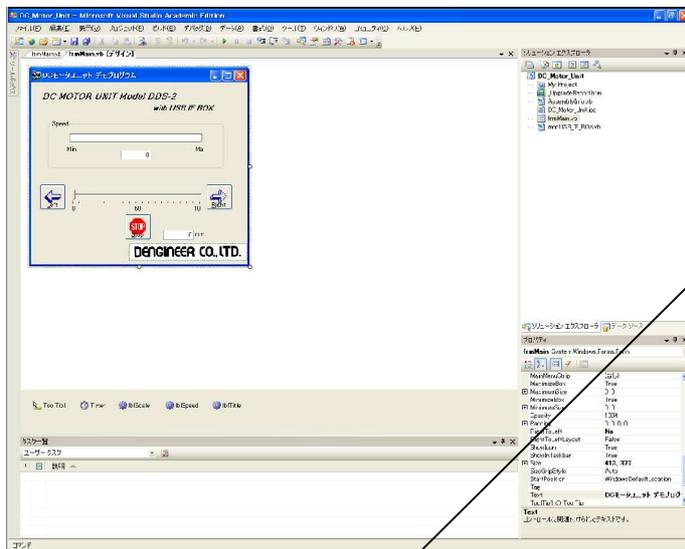
コピーしたら、Visual Studio 2005 を開き、
 「ファイル」→「プロジェクトを開く」を
 選択します。



先ほどコピーしたものの中から、
 プロジェクトファイル (拡張子.vbp) を
 開きます。
 この場合は「DC_Motor_Unit.vbp」です。



「Visual Basic アップグレードウィザード」が
 開きますので、後は画面の指示に従ってください。



アップグレードの処理が完了すると、
右上の「ソリューション エクスプローラ」に
変換されたプロジェクトが生成されます。



これで、VB2005 による参照や編集が
できるようになりました。

後は、VB2005 の参考書や、オンラインヘルプを
参照しながら、進めてください。

3. 変更点についての有益な情報

Visual Studio 2005 には、オンラインヘルプが付属されており、その中に、
「Visual Basic 6.0 ユーザー向けのヘルプ」というものが収録されています。

当社のサンプルプログラムのオリジナルとの違いや、おかしい動作をした時の対処のしかたについて、
参考になると思います。

オリジナルの VB6 のものから VB2005 へ適切に変換されなかった部分も、少なからず存在すると思
われますので、このヘルプを活用して、修正することをお勧めします。

こうした作業により、VB2005 というプログラミング言語についての理解が、より深まることでしょう。

